

感染症発生動向調査／多摩立川感染症週報

2026年 第25週 (2026年6月15日～6月21日)

東京都多摩立川保健所 保健対策課 電話042-524-5171(代表)

*管内(立川市・昭島市・国分寺市・国立市・東大和市・武蔵村山市)の今週の感染症発生動向

【定点把握対象疾患】* 定点医療機関: COVID-19定点21医療機関・インフルエンザ定点21医療機関・ARI定点21医療機関・小児科定点14医療機関・眼科定点2医療機関

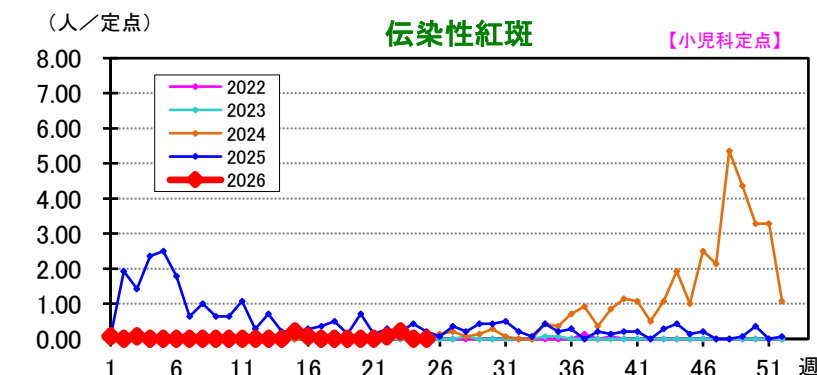
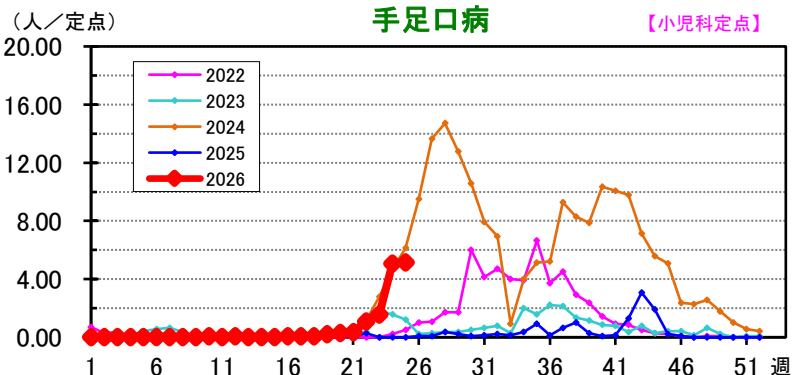
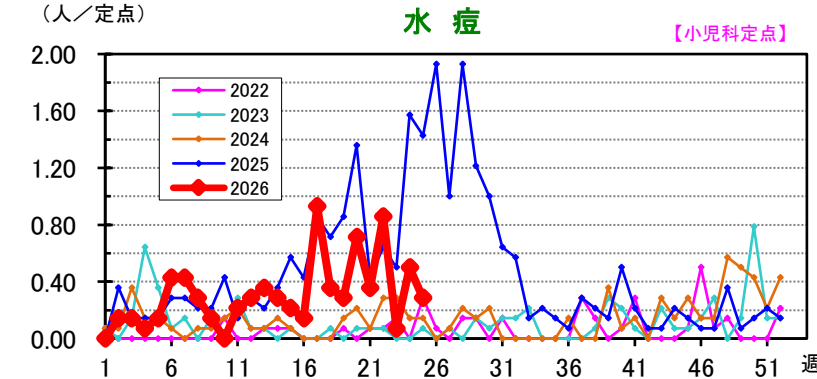
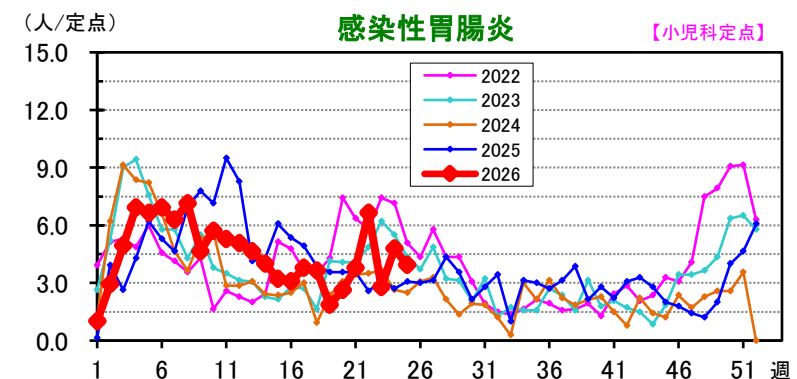
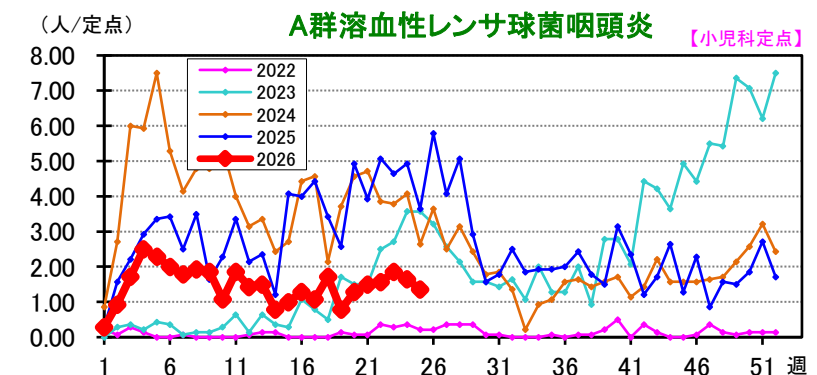
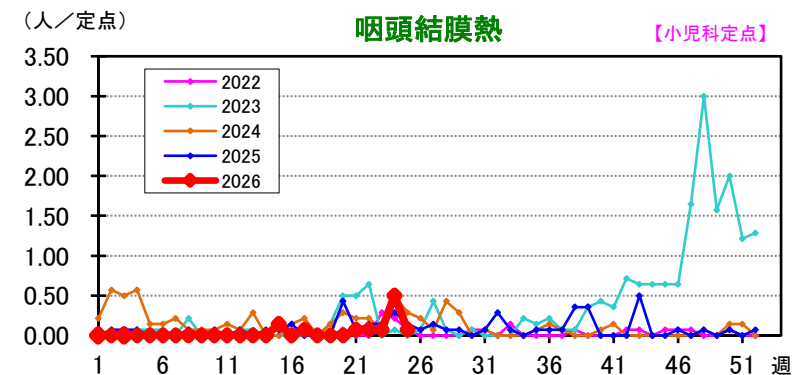
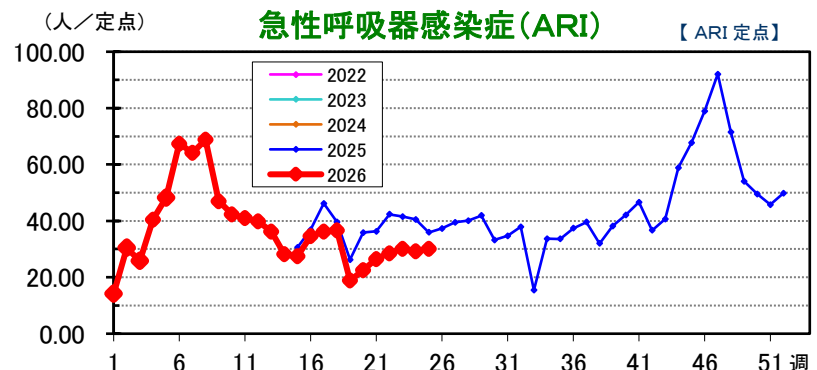
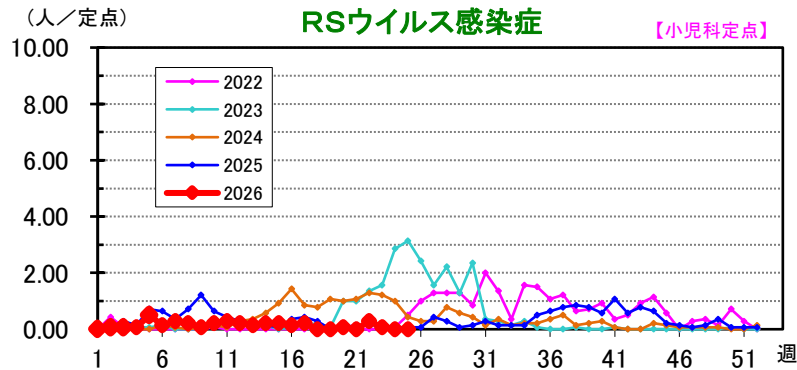
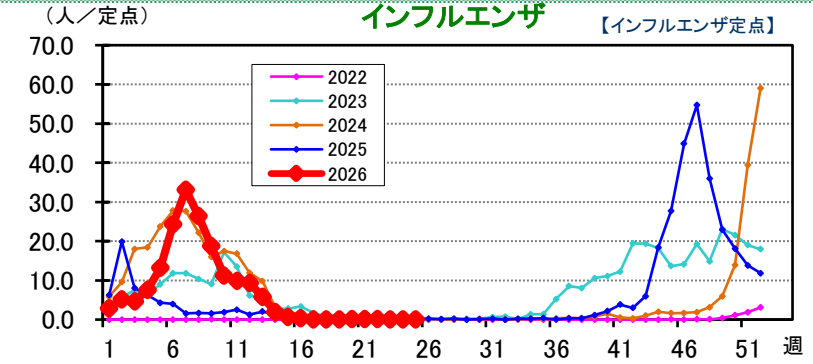
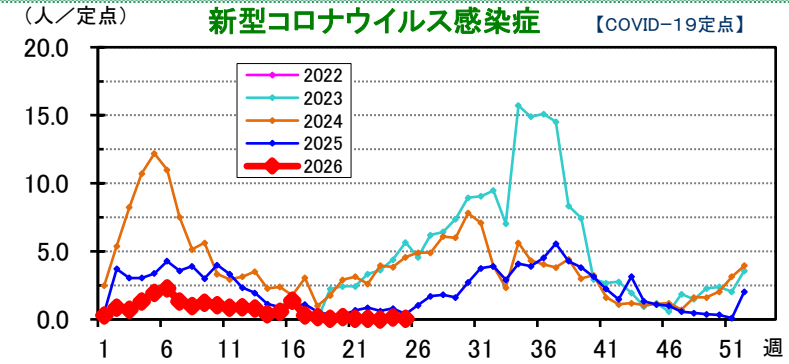
・手足口病の定点当たり報告数は5.14と、前週(5.07)から微増し、2週連続で流行警報基準レベル(5.0)を超えています。

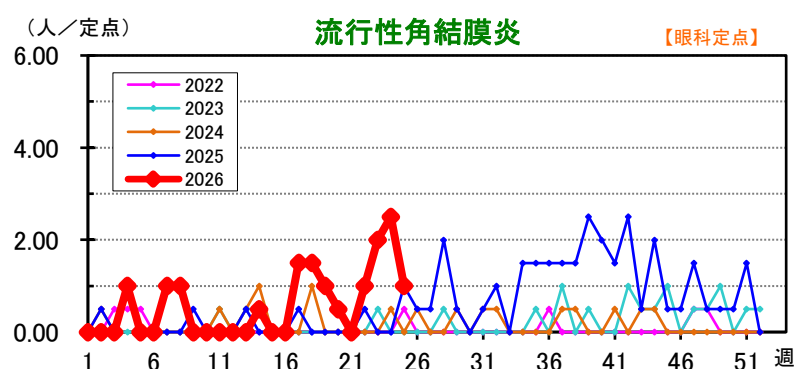
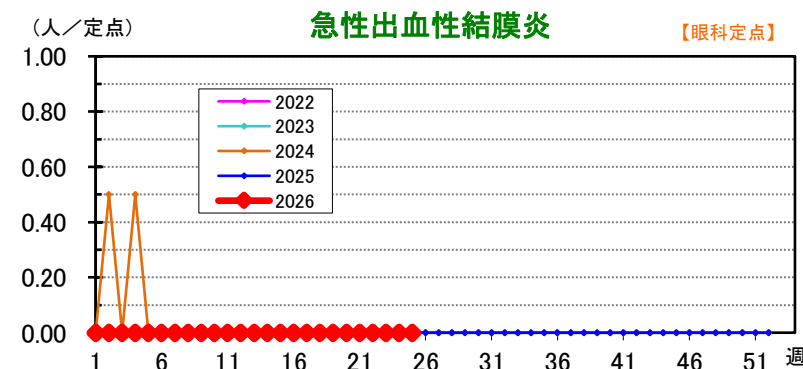
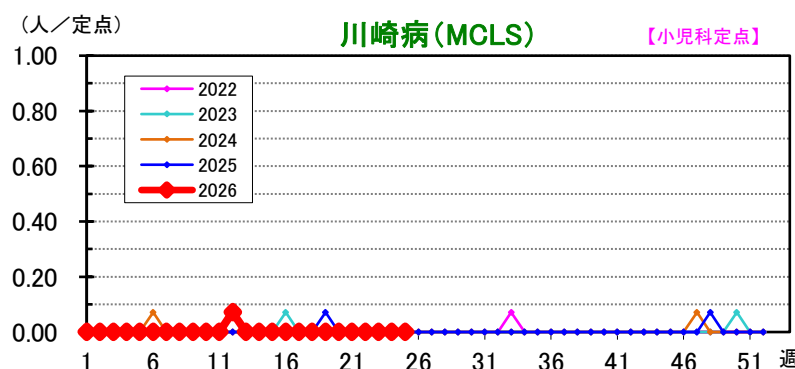
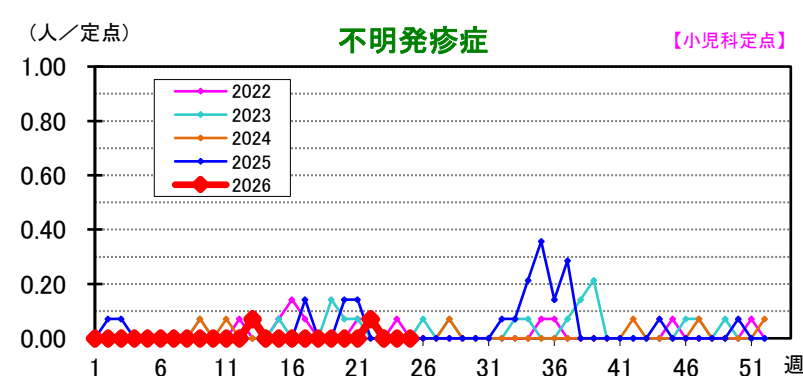
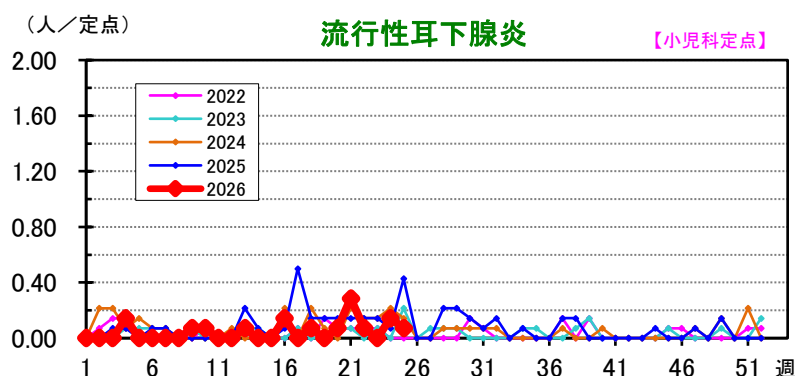
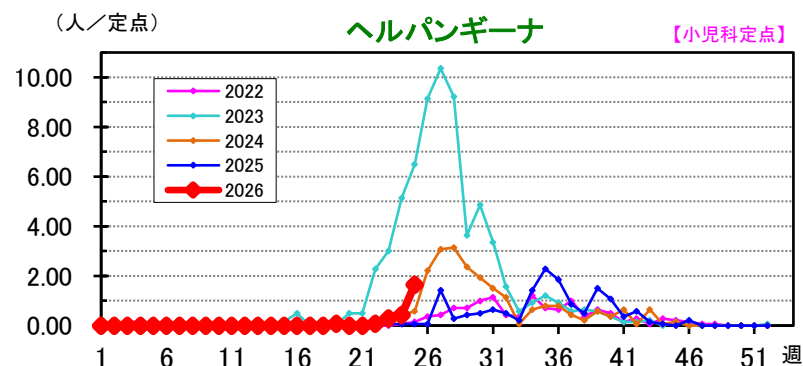
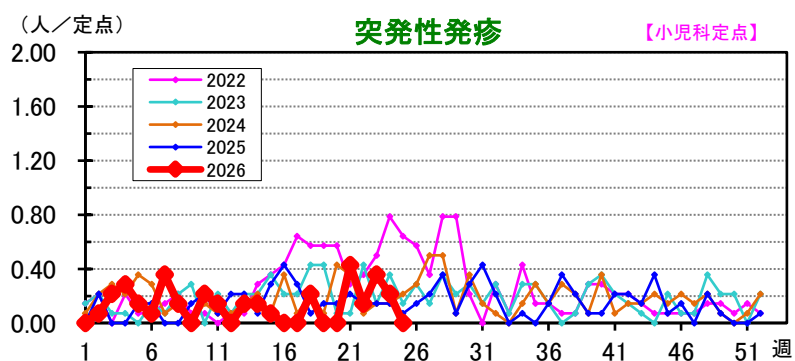
・ヘルパンギーナは定点当たり1.64と、前週(0.43)から約4倍に急増しました。

・上記いずれも、同じウイルス群による夏季感染症です。感染予防には、流水と石けんによる手洗い、咳エチケットの徹底、タオルや食器の共用を避ける、排泄物の適切な処理等、基本的感染対策を行うことが重要です。

【感染症集団発生状況(新規)】

・手足口病4件(保育所)の報告がありました。





【都内の感染症発生動向について】
東京都感染症情報センター
<https://idsc.tniph.metro.tokyo.lg.jp/>

【国内の感染症発生動向について】
国立感染症研究所感染症情報センター
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/pdf-j.html>

* 管内定点医療機関あたり報告数(直近4週間)

疾病	2026								1週からの 報告累計数
	22週		23週		24週		25週		
	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	報告数	定点あたり	
新型コロナウイルス	1	0.05	0	0.00	3	0.14	1	0.05	381
インフルエンザ	2	0.10	1	0.05	1	0.05	0	0.00	3,701
RSウイルス感染症	4	0.29	1	0.07	0	0.00	0	0.00	49
急性呼吸器感染症(ARI)	600	28.57	632	30.10	613	29.19	631	30.05	19,256
咽頭結膜熱	1	0.07	1	0.07	7	0.50	1	0.07	14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	1.57	26	1.86	23	1.64	19	1.36	518
感染性胃腸炎	93	6.64	39	2.79	67	4.79	55	3.93	1,572
水痘	12	0.86	1	0.07	7	0.50	4	0.29	107
手足口病	15	1.07	22	1.57	71	5.07	72	5.14	197
伝染性紅斑	1	0.07	3	0.21	0	0.00	0	0.00	10
突発性発疹	2	0.14	5	0.36	3	0.21	0	0.00	47
ヘルパンギーナ	1	0.07	4	0.29	6	0.43	23	1.64	35
流行性耳下腺炎	1	0.07	0	0.00	2	0.14	1	0.07	17
不明発しん症	1	0.07	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2
川崎病(MCLS)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1
急性出血性結膜炎	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
流行性角結膜炎	2	1.00	4	2.00	5	2.50	2	1.00	29

6月は「東京都HIV検査・相談月間」です。エイズとは、HIVの感染により免疫機能が低下し、さまざまな感染症などにかかりやすくなった状態を指します。HIVに感染しても、適切な治療を受けることでエイズの発症を防ぎ、感染前と変わらない日常生活を送ることができます。また早期に治療を始めることにより、他の人への感染を防ぐこともできます。東京都では、保健所等において無料・匿名でHIV検査および相談を実施しています。少しでも気になることがある場合は、一人で悩まず、検査や相談をご利用ください。

東京都保健医療局 東京都HIV検査・相談月間 🔍